

令和3年度

教育委員会事務事業の点検・評価報告書  
(対象:令和2年度事業)

令和3年11月  
田布施町教育委員会

## 1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第26条の規定に基づき、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされています。

田布施町教育委員会(以下「町教育委員会」という。)では、法の規定に則り、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たすため、令和2年度の町教育委員会の事務事業の執行状況について点検及び評価を行い、教育に関し学識経験を有する者の知見を踏まえた上で、その結果をまとめましたので、報告します。

## 2 点検及び評価の実施について

### (1) 対象事業

令和2年度に実施した町教育委員会の事業のうち、「令和2年度田布施町の教育」に掲げる主要な事業を選定し、「田布施町総合計画」に定める具体施策ごとに分類して、点検及び評価を行いました。

### (2) 評価の方法

事業の概要、実績、経費の執行状況、課題などを内容とする「事業の点検・評価票」を作成し、下記の評価基準に基づき、町教育委員会事務局が内部評価を行うとともに、評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する者として町教育委員会が委嘱した3名の委員による外部評価を実施しました。

### (評価委員)

高橋 邦子	元田布施町教育委員
田中 恵美子	元田布施町立小学校長
木村 正嗣	元中学校長

### (評価基準)

A	目的に対し、順調に事業が達成できた。
B	事業の進め方等に改善の検討はあるものの、概ね(8割程度)目的を達成できた。
C	目的の一部(5割程度)は達成できたが、事業の改善が必要である。
D	事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討が必要である。

## 3 点検及び評価の結果について

別紙のとおり

事業の点検・評価一覧表

No	事業の名称	経費 (千円)	評価	担当課
1	教育委員会運営事業	699	A	学校教育課
2	スクールバス運行事業	9,634	A	
3	小学校管理事業	104,760	A	
4	小学校教育振興事業	2,853	A	
5	中学校管理事業	317,887	A	
6	中学校教育振興事業	2,620	A	
7	保健関係事業	3,787	A	
8	就学援助事業	9,852	A	
9	教員補助者設置事業	7,367	A	
10	幼児教育推進事業	—	A	
11	生徒指導推進事業	1,506	B	
12	学力向上推進事業	8,197	A	
13	体力向上推進事業	—	A	
14	特別支援教育推進事業	—	B	
15	キャリア教育推進事業	—	B	
16	コミュニティ・スクール(CS)推進事業	250	A	
17	学校給食センター運営事業	59,659	A	

No	事業の名称	経費 (千円)	評価	担当課
18	生きがい教室開催事業	144	A	社会教育課
19	学校・家庭・地域連携協力推進事業	3,231	A	
20	成人式開催事業	499	A	
21	人権教育推進事業	499	A	
22	青少年の健全育成事業	400	A	
23	地域公民館まつり開催事業	0	B	
24	公民館運営事業	21,769	B	
25	公民館施設管理事業	16,528	C	
26	図書館管理運営事業	15,734	A	
27	郷土館管理運営事業	11,897	B	
28	埋蔵文化財調査事業	30,186	B	
29	スポーツ推進体制強化事業	466	B	
30	生涯スポーツ推進事業	2,046	B	
31	我がまちスポーツ推進事業	—	A	
32	スポーツセンター管理運営事業	51,063	B	

事業の点検評価票(学校教育)

No.1

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事業の名称	教育委員会運営事業		
事業の概要	教育委員会会議の開催や教育委員の研修及び学校訪問等		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会会議及び協議会:6回</li> <li>・総合教育会議開催:2回</li> <li>・教育委員学校訪問:11月4日、10日、19日、20日、25日 (小学校4校、中学校1校、給食センターを半日ずつ訪問)</li> <li>・教育委員研修会等 柳井地域教育委員等研修会:11月6日(柳井市) ※山口県市町教育委員会委員研修会等その他の研修は中止</li> <li>・その他教育関係行事への出席 (小中学校入学式・運動会等については、コロナ禍のため不参加) 委員報酬[690,800円]、評価委員報酬[7,500円]</li> </ul>		
事業の経費	699千円		
事業の成果と課題	教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況について適正な点検及び評価を行い、今後の教育行政に反映する取組を進めている。また、総合教育会議を年2回開催し、コロナ禍での各学校の現状や施設整備について町長部局との連携を図った。		
評価	A	コロナ禍により規模縮小となった行事等はあるが、達成評価としては記載の通り。	

No.2

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事業の名称	スクールバス運行事業		
事業の概要	学校の統廃合等により、遠距離通学となる児童生徒の通学条件の緩和を図るため、町所有のスクールバス3台及びタクシーの運行を交通業者に委託		
事業の実績	<p>対象児童生徒の登下校及び総合的な学習の時間や中学校部活動に利用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・麻郷小学校 1台(対象人数:17人)</li> <li>・田布施西小学校 1台(対象人数:5人)</li> <li>・東田布施小学校、田布施中学校 1台(対象人数:4人)</li> <li>・校外学習(39回)、部活動利用(19回)</li> </ul> <p>運行委託料[7,542,945円]、修繕料[784,092円]、消耗品[53,630円]、燃料代[691,760円]、保険料[38,630円]、車検[449,018円]、重量税[73,800円]</p>		
事業の経費	9,634千円		
事業の成果と課題	<p>遠距離通学の児童生徒の通学条件の緩和や登下校の安全が図られた。また、土曜の部活動参加用の運行を開始した。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策として、消毒、換気、密を避ける等委託業者にも依頼し、徹底のうえ運行を行った。</p> <p>今後も安心・安全のもとスクールバスの適正な運用に努める。</p>		
評価	A	新型コロナウイルス感染症対策も含め、安全面において配慮されており、部活や校外活動においても運用されている点で評価できる。	

施 策 名	学校教育の充実	担当課	学校教育課	
事 業 の 名 称	小学校管理事業			
事 業 の 概 要	所管する4小学校の施設維持管理及び学校設備等の整備を行う。			
事 業 の 実 績	・光熱水費	7,319 千円		
	・学校再開支援(ハンドソープ泡ディスペンサー他)	439 千円		
	・田布施町立小学校教育用ソフトウェアライセンス (5年間)	5,225 千円		
	・各小学校修繕費	3,088 千円		
	・点検管理業務等の委託9件	4,650 千円		
		内 訳	R2 (円)	
		消防設備点検	443,300	
		電気保安管理	723,360	
		浄化槽管理	1,419,692	
		清掃業務	1,453,997	
		プールろ過器保守管理	140,800	
		貯水槽清掃	46,420	
		樹木剪定	54,000	
		下水中継ポンプ保守管理	184,800	
		シンクラシステム保守	183,425	
		合 計	4,649,794	
	・業務委託	32,081 千円		
		田布施町立小学校校内LAN整備業務委託	23,582,300 円	
		田布施町立小学校電源保管庫設置業務委託	7,660,290 円	
		田布施町立小学校タブレット初期キッティング・ 導入支援業務委託	838,420 円	
・工事費	1,190 千円			
	田布施西小学校理科室天井・壁改修工事	369,500 円		
	東田布小学校運動場スピーカー支柱取替工事	195,800 円		
	東田布施小学校高圧機器耐塩仕様改修工事	625,900 円		
・学校用備品	50,768 千円			
	一般備品	1,272,537 円		
	その他備品	80,850 円		
	ICT 整備	47,025,869 円		
	内 訳	R2 (円)		
	iPad 764 台	34,372,360		
	大型表示装置 42 台	7,058,271		
	アクセサリ他	5,595,238		
学校再開支援	2,388,540 円			
	内 訳	R2 (円)		
	熱中指数計 9 台	176,880		
	大型扇風機 16 台	786,720		
	サーキュレーター 49 台	1,424,940		
事 業 の 経 費	104,760 千円			

事業の成果と課題	<p>児童の安全及び良好な教育環境を確保するため、必要となる学校施設の修繕等を実施した。</p> <p>ICT整備(1人1台タブレット)が前倒しとなり、令和2年度までに業務委託、備品及びソフト等の整備を行った。次年度、授業でのタブレット使用の課題が残っている。</p> <p>田布施西小学校理科室特別教室の壁上部及び梁の仕上げ材の劣化による、剥離が発生したため改修を行った。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策にかかわる学校支援を行った。</p>	
評価	A	<p>ICT事業に係る整備並びにコロナ対策支援等の対策もよく行っている。ソフト及びハード面とも充実し、時代に即した対応は評価できる。今後も予算を確保し、必要となる工事・修繕等を進めていただきたい。</p>

No.4

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課																								
事業の名称	小学校教育振興事業																										
事業の概要	<p>児童、教職員の教育振興・充実を図る事業等である。主なものは、総合的な学習の時間等関係経費、教職員研修会等への補助金</p>																										
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な学習における講師謝金 15 千円</li> <li>・バス・渡船借り上げ料 169 千円 (陸上記録会、総合的な学習)</li> <li>・教材備品 300 千円</li> <li>・図書購入費 770 千円</li> <li>・ICT 整備備品 1,182 千円</li> </ul> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th>内 訳</th> <th>R2 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>貸出用モバイルWi-Fiルーター 111 台</td> <td>1,024,785</td> </tr> <tr> <td>ウェブ会議用アクセサリ(カメラ・スピーカーフォン・ヘッドセット) 4セット</td> <td>157,080</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種負担金、補助金 417 千円</li> </ul> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th>内 訳</th> <th>R2 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教職員研修</td> <td>150,000</td> </tr> <tr> <td>県郡校長会</td> <td>128,800</td> </tr> <tr> <td>県郡教育研究会</td> <td>57,000</td> </tr> <tr> <td>小学体育連盟</td> <td>4,820</td> </tr> <tr> <td>養護教諭研修会</td> <td>16,000</td> </tr> <tr> <td>事務職員会</td> <td>20,000</td> </tr> <tr> <td>修学旅行</td> <td>40,161</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>416,781</td> </tr> </tbody> </table>			内 訳	R2 (円)	貸出用モバイルWi-Fiルーター 111 台	1,024,785	ウェブ会議用アクセサリ(カメラ・スピーカーフォン・ヘッドセット) 4セット	157,080	内 訳	R2 (円)	教職員研修	150,000	県郡校長会	128,800	県郡教育研究会	57,000	小学体育連盟	4,820	養護教諭研修会	16,000	事務職員会	20,000	修学旅行	40,161	合 計	416,781
内 訳	R2 (円)																										
貸出用モバイルWi-Fiルーター 111 台	1,024,785																										
ウェブ会議用アクセサリ(カメラ・スピーカーフォン・ヘッドセット) 4セット	157,080																										
内 訳	R2 (円)																										
教職員研修	150,000																										
県郡校長会	128,800																										
県郡教育研究会	57,000																										
小学体育連盟	4,820																										
養護教諭研修会	16,000																										
事務職員会	20,000																										
修学旅行	40,161																										
合 計	416,781																										
事業の経費	2,853 千円																										
事業の成果と課題	<p>毎年、「学校図書館図書標準」に基づき、図書蔵書の充実を進めている。</p> <p>ICT整備を進めていくため、ウェブ会議用備品(カメラ・スピーカーフォン・ヘッドセット)を整備した。また、これから子どもたちが家庭でタブレットを使用するため、Wi-Fi環境がない家庭へ貸出用モバイルルーターを準備した。整備計画により備品等の整備を行い、効率的な運用を行う。</p>																										
評価	A	<p>ウェブ会議用備品・家庭への貸出用モバイルルーターが整備された。効率的な運用及び問題の留意点等をよく把握されたい。また、消耗品や備品購入等の優先度の高い事業での活用を検討していただきたい。</p>																									

施 策 名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事業の名称	中学校管理事業		
事業の概要	所管する中学校の施設の維持管理及び学校設備等の整備を行う。		
事業の実績	・光熱水費	4,795 千円	
	・学校再開支援(ハンドソープ泡ディスペンサー他)	61 千円	
	・田布施町立中学校教育用ソフトウェアライセンス (5年間)	3,218 千円	
	・修繕費	939 千円	
	・点検管理業務等の委託8件	4,124 千円	
		内 訳	R2 (円)
		消防設備点検	434,500
		電気保安管理	241,560
		清掃業務	972,108
		プールろ過器保守	35,200
		貯水槽清掃	122,430
		樹木剪定委託	50,000
		ビル管理	2,221,000
		シンクシステム保守	58,025
		合 計	4,124,823
	・業務委託	14,345 千円	
	田布施町立中学校校内LAN整備業務委託	11,287,700 円	
	田布施町立中学校電源保管庫設置業務委託	2,569,710 円	
	田布施町立中学校タブレット初期キッティング・ 導入支援業務委託	487,520 円	
	・設計監理業務委託料	21,236 千円	
	大規模改修Ⅰ・Ⅱ期工事設計監理(元年度繰越)※精算	19,806,000 円	(26,906,000)
	武道場非構造耐震工事設計監理	1,430,000 円	
	・工事費	240,725 千円	
大規模改修Ⅰ期工事(元年度繰越)※精算	107,070,200 円	(130,770,200)	
大規模改修Ⅱ期工事(元年度繰越)	116,221,600 円		
武道場非構造部材耐震化工事	13,113,100 円		
放送室空調設備改修工事	236,500 円		
相談室空調設備改修工事	803,000 円		
コンピューター室空調設備改修工事	1,837,000 円		
舗装改修工事	1,443,200 円		
・学校用備品	28,444 千円		
一般備品	600,910 円		
ICT 整備	26,727,074 円		
	内 訳	R2 (円)	
	iPad 442 台	19,885,580	
	大型表示装置 21 台	3,680,490	
	アクセサリ他	3,161,004	
学校再開支援	1,116,368 円		
	内 訳	R2 (円)	
	熱中指数計 4 台	59,928	
	大型扇風機 8 台	393,360	
	サーキュレーター 22 台	663,080	



事業の経費	317,887千円
事業の成果と課題	<p>生徒の安全及び良好な教育環境を確保するため、必要となる学校施設の修繕等を実施した。</p> <p>ICT整備(1人1台タブレット)が前倒しとなり、令和2年度までに業務委託、備品及びソフト等の整備を行った。次年度、授業でのタブレット使用の課題が残っている。</p> <p>大規模改修工事(老朽)は、I期II期令和元年度繰越事業として、工事が完成し校舎棟の整備ができた。また、屋内運動場(武道場)の非構造部材耐震工事が完了した。次年度アリーナの非構造部材耐震工事が残っている。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策による学校支援を行った。</p>
評価	<p>A</p> <p>ICT事業に係る整備並びにコロナ対策支援等の対策もよく行っている。ソフト及びハード面とも充実し、時代に即した対応は評価できる。</p> <p>中学校校舎に関しては大規模改修工事等大きな工事も終わったが、引き続き施設整備の対応をされたい。</p>

## No.6

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課																												
事業の名称	中学校教育振興事業																														
事業の概要	生徒、教職員の教育振興・充実を図る事業等である。主なものは、総合的な学習の時間等関係経費、教職員研修会等への補助金																														
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な学習における講師謝金 15千円</li> <li>・教材備品 204千円</li> <li>・図書購入費 499千円</li> <li>・部活動備品 91千円</li> <li>・ICT整備備品 612千円</li> </ul> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th>内 訳</th> <th>R2 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>貸出用モバイルWi-Fiルーター 62台</td> <td>572,402</td> </tr> <tr> <td>ウェブ会議用アクセサリ (カメラ・スピーカーフォン・ヘッドセット) 1セット</td> <td>39,270</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種負担金、補助金 1,199千円</li> </ul> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th>内 訳</th> <th>R2 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事務職員研修会</td> <td>10,000</td> </tr> <tr> <td>養護教諭研修会</td> <td>4,000</td> </tr> <tr> <td>県郡校長会</td> <td>34,000</td> </tr> <tr> <td>県郡教育研究会</td> <td>46,000</td> </tr> <tr> <td>中学体育連盟</td> <td>172,190</td> </tr> <tr> <td>中学文化連盟</td> <td>12,270</td> </tr> <tr> <td>部活動指導</td> <td>360,000</td> </tr> <tr> <td>県大会出場助成</td> <td>416,460</td> </tr> <tr> <td>教職員研修会</td> <td>144,000</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>1,198,920</td> </tr> </tbody> </table>			内 訳	R2 (円)	貸出用モバイルWi-Fiルーター 62台	572,402	ウェブ会議用アクセサリ (カメラ・スピーカーフォン・ヘッドセット) 1セット	39,270	内 訳	R2 (円)	事務職員研修会	10,000	養護教諭研修会	4,000	県郡校長会	34,000	県郡教育研究会	46,000	中学体育連盟	172,190	中学文化連盟	12,270	部活動指導	360,000	県大会出場助成	416,460	教職員研修会	144,000	合 計	1,198,920
内 訳	R2 (円)																														
貸出用モバイルWi-Fiルーター 62台	572,402																														
ウェブ会議用アクセサリ (カメラ・スピーカーフォン・ヘッドセット) 1セット	39,270																														
内 訳	R2 (円)																														
事務職員研修会	10,000																														
養護教諭研修会	4,000																														
県郡校長会	34,000																														
県郡教育研究会	46,000																														
中学体育連盟	172,190																														
中学文化連盟	12,270																														
部活動指導	360,000																														
県大会出場助成	416,460																														
教職員研修会	144,000																														
合 計	1,198,920																														
事業の経費	2,620千円																														
事業の成果と課題	<p>毎年、「学校図書館図書標準」に基づき、図書蔵書の充実を進めている。</p> <p>ICT整備を進めていくため、ウェブ会議用備品(カメラ・スピーカーフォン・ヘッドセット)を整備した。また、これから子ども達が家庭でタブレットを使用するため、Wi-Fi環境がない家庭へ貸出用モバイルルーターを準備した。整備計画により備品等の整備を行い、効率的な運用を行う。</p> <p>部活動備品については、部活動に支障が起きないよう、年次的、計画的に更新をしていく。</p>																														

評価	A	ウェブ会議用備品・家庭への貸出用モバイルルーターが整備された。効率的な運用及び問題の留意点等をよく把握されたい。また、部活動備品に関して、引き続き計画的に整備を進めていただきたい。
----	---	--

### No.7

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事業の名称	保健関係事業		
事業の概要	学校保健法に基づく小中学校児童生徒や教職員の各種の検診等		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員健康診断(基本検診) 488,880 円</li> <li>・教職員健康診断(胃検診) 337,618 円</li> <li>・教職員健康診断(結核検診) 188,881 円</li> <li>・児童生徒心臓検診 717,355 円 (小1年・4年、中1年)</li> <li>・就学時健康診断 469,800 円</li> <li>・児童生徒健康管理 1,584,700 円</li> </ul>		
事業の経費	3,787 千円		
事業の成果と課題	児童生徒や教職員の健康管理については、関係機関と連携を図りながら、迅速な対応をしている。また、教職員の健康診断について、養護教諭や近隣の教育委員会と調整連携を図りながら、未受診減少に努めている。		
評価	A	コロナ禍における児童生徒及び教職員のメンタル面での支援充実を図られたい。 健康診断等については関係者間で連携がとられており、評価できる。	

### No.8

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事業の名称	就学援助事業		
事業の概要	経済的な理由による就学困難な児童生徒の保護者に対して、必要な援助をする。		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校 学用品費等 80 人[1,290 千円]医療費 0 人[0 千円]給食費 79 人[3,484 千円] 新入学準備金 9 人[460 千円]</li> <li>・中学校 学用品費等 48 人[1,410 千円]医療費 2 人[6 千円]給食費 46 人[2,302 千円] 新入学準備金 15 人[900 千円]</li> </ul>		
事業の経費	9,852 千円		
事業の成果と課題	学校教育法第 19 条の規定に基づき、経済的理由によって就学困難な児童生徒の保護者に対して充実した支援となった。平成 29 年より、新入学児童生徒に入学準備金を 3 月に支給し、より充実した援助となるよう努めている。		
評価	A	支援の必要な世帯に対し、確実に支援が届くよう周知等工夫を図られたい。	



## No.11

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課																											
事業の名称	生徒指導推進事業																													
事業の概要	児童生徒が互いの心身を大切にし尊重し合える学校づくりや、小中学校で一貫した指導体制の確立、また、いじめや不登校への早期発見・早期対応により、個に応じたきめ細かな支援体制を確立する。																													
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクール・カウンセラー(SC)、スクール・ソーシャル・ワーカー(SSW)の積極的な活用(定期的・臨時的相談、訪問含む)</li> <li>・早期発見のためのいじめアンケート実施、教育相談等の充実</li> <li>・GAP調査(児童生徒理解のための受容感プロファイリングツールとして活用している)</li> </ul>																													
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケース会議の開催 (学校の要請により、スクール・カウンセラー、スクール・ソーシャル・ワーカー、警察、児童相談所、関係各課の参加)</li> <li>・町民福祉課との情報交換実施</li> </ul> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">【不登校】</th> <th style="text-align: center;">【暴力行為】</th> <th style="text-align: center;">【いじめ(認知件数)】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29 小2人 中11人</td> <td>小1人 中5人</td> <td>小5人 中6人</td> </tr> <tr> <td>H30 小2人 中8人</td> <td>小3件 中7件</td> <td>小11件 中10件</td> </tr> <tr> <td>R1 小4人 中16人</td> <td>小無し 中3件</td> <td>小14件 中10件</td> </tr> <tr> <td>R2 小5人 中21人</td> <td>小無し 中無し</td> <td>小32件 中5件</td> </tr> </tbody> </table> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">SSW派遣事業</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">委託料</td> <td style="text-align: right;">374,527 円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">不登校総合対策事業</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">学習支援員 臨時雇賃金</td> <td style="text-align: right;">874,608 円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">SC報償</td> <td style="text-align: right;">211,500 円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">旅 費</td> <td style="text-align: right;">45,584 円</td> </tr> </table>			【不登校】	【暴力行為】	【いじめ(認知件数)】	H29 小2人 中11人	小1人 中5人	小5人 中6人	H30 小2人 中8人	小3件 中7件	小11件 中10件	R1 小4人 中16人	小無し 中3件	小14件 中10件	R2 小5人 中21人	小無し 中無し	小32件 中5件	SSW派遣事業		委託料	374,527 円	不登校総合対策事業		学習支援員 臨時雇賃金	874,608 円	SC報償	211,500 円	旅 費	45,584 円
【不登校】	【暴力行為】	【いじめ(認知件数)】																												
H29 小2人 中11人	小1人 中5人	小5人 中6人																												
H30 小2人 中8人	小3件 中7件	小11件 中10件																												
R1 小4人 中16人	小無し 中3件	小14件 中10件																												
R2 小5人 中21人	小無し 中無し	小32件 中5件																												
SSW派遣事業																														
委託料	374,527 円																													
不登校総合対策事業																														
学習支援員 臨時雇賃金	874,608 円																													
SC報償	211,500 円																													
旅 費	45,584 円																													
事業の経費	1,506 千円																													
事業の成果と課題	<p>小学校の不登校については横ばいであるが、中学校は増加している。暴力行為は小中学校とも減少だが、意識や認知度の高まりによりいじめの件数は増えている。小中学校、スクール・ソーシャル・ワーカー、スクール・カウンセラー等と連携し、これらの対応に当たっており、いじめに関しては改善方向に向かっている事案も増えている。</p> <p>今後も、各学校・関係機関や専門家との連携を密にし、早期発見・早期対応はもとより、個に応じたきめ細かな支援体制のさらなる強化が必要である。</p>																													
評価	B	不登校の児童生徒への学習支援やスクール・ソーシャル・ワーカー、スクール・カウンセラー等と連携を密にし、個に応じた手立てを講じてほしい。学校に登校させるのは家庭によるところが大きいので、社会教育課と連携を図り取り組んでほしい。																												

## No.12

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事業の名称	学力向上推進事業		
事業の概要	学校の組織的な取組、授業改善を含めた工夫や教員一人ひとりの授業力向上、学習環境づくりに努めるとともに、学習習慣の確立と主体的な学習態度の育成を図る。		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導主事の学校訪問による指導、支援</li> <li>・校内研修(研究授業)への指導・助言</li> <li>・授業改善、学力向上のための情報共有と指導・助言</li> <li>・町学力向上担当者会議(年3回)の開催による「全国学力・学習状況調査」及び「山口県学力定着状況確認問題」への対応</li> <li>・「田布施町成長診断テスト」の実施及び指導による学力、成長の保証</li> </ul>		
事業の経費	8,197 千円		
事業の成果と課題	<p>研修主任を中心とした学力向上に向けた授業・学習活動や、学力向上推進リーダーによる授業参観や指導助言により、各校の教員の授業力向上・児童生徒の学力向上につながっている。結果として、田布施町の児童生徒の学力は県内でも高い水準を保っている。</p> <p>今後も、関係機関との連携による学習支援や放課後学習等の活用、ユニット型研修の推進による教職員の人材育成や授業改善を進めていくことで、児童生徒のさらなる学力向上を目指す。</p>		
評価	A	学力向上担当者会議に小・中学校の担当者が、情報を共有し協議していることが評価できる。小学校4校の同一歩調の取組が中学校につながっていることが、学力向上に結びついている。	

## No.13

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事業の名称	体力向上推進事業		
事業の概要	体育の授業や町の体育的行事等を核としながら、体育的活動の充実を図るとともに、児童生徒の体力の向上を目指す。		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「体力向上プログラム」の作成及び「1校1取組」に対する指導</li> <li>・町内小学校陸上記録会への参加</li> <li>・体力テスト等のデータ集積による課題把握、分析、取組に対する指導助言</li> </ul>		
事業の経費	一 千円		
事業の成果と課題	<p>各学校で「体力向上プログラム」を作成し、始業前や業間体育、放課後等を利用して体力向上に取り組むよう指導している。町陸上記録会は縮小しての実施、町水泳記録会、町内一周駅伝は、新型コロナウイルス感染症対策のため中止となった。体力テストに向けての正しい測定の仕方、実施の仕方についての指導・助言を行い、成果が見られた。</p> <p>今後、県トップレベルを維持していくために、体力面での課題である投力・握力に重点をおいた指導の工夫や、日常的な運動習慣化の工夫が必要と思われる。</p>		
評価	A	コロナ禍により規模の縮小や中止となった行事等はあるが、達成評価としては記載の通りである。	

## No.14

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事業の名称	特別支援教育推進事業		
事業の概要	児童生徒一人ひとりの障害の状況や教育的ニーズに対して、正しい認識と共通理解のもと、教育的支援を計画的に推進する。		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町教育支援委員会の開催</li> <li>・町校内コーディネーター研修会の開催</li> <li>・町幼保小中連携会議の開催(年2回)、町幼保小連絡協議会の開催(年2回)</li> <li>・就学に係る幼・保園訪問、相談会の実施</li> <li>・就学時健康診断の実施と結果の通知</li> <li>・田布施総合支援学校や地域コーディネーターとの連携</li> <li>・各学校における特別支援学級等設置状況  麻郷小学校 : 自閉症・情緒障害、知的障害、通級指導教室  田布施西小学校: 自閉症・情緒障害、知的障害、通級指導教室  東田布施小学校: 自閉症・情緒障害、知的障害  城南小学校 : 情緒障害、知的障害、病弱、肢体不自由  田布施中学校 : 自閉症・情緒障害、知的障害、通級指導教室</li> </ul>		
事業の経費	一 千円		
事業の成果と課題	<p>幼保小中連携会議により成果と課題の共有化を図り、田布施町の教育のあり方について共通認識した。</p> <p>保健センターと情報の共有や連携を強化するため、5歳児発達相談に参加し、できるだけ早い段階での就学に向けた相談や、関係機関との連携を図ることにより、適切な就学につながっている。</p> <p>また、「身体に関する結果通知」に加え、「知的発達検査の結果」についても通知するように改善し、就学前の相談体制の構築に努めた。</p> <p>課題としては、各学校の校内コーディネーターの役割の重要性や学校全体で行われるべき個々の児童・生徒に適した指導や支援の方法等についての研修機会を増やす必要がある。</p>		
評価	B	早い段階からの切れ目のない支援が必要である。現在、どの小学校も落ち着いて学習できる環境にあるのも、早くからの適切な支援があるからである。関係機関との連携を密にし進めてほしい。	

## No.15

施策名	ふるさと就労に向けた高校・大学との連携	担当課	学校教育課
事業の名称	キャリア教育推進事業		
事業の概要	社会的・職業的自立に向けた勤労観、職業観等を身に付けるためのキャリア教育・職業教育の推進と進路指導の充実を図る。		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育全体計画の見直し等に関する指導</li> <li>・1/2成人式、志教育の奨励</li> <li>・社会見学や職場訪問、職場体験に関する指導・助言</li> </ul>		
事業の経費	一 千円		
事業の成果と課題	<p>キャリア教育においては、社会見学や職場訪問、職場体験が感染症拡大で中止になったが、色々な職業の方の講話を聞く等、効果的に実施されている。小学校では1/2成人式が全校で実施され、中学校では、立志のつどいや栄光の旗頭彰式が行われている。</p> <p>上記2つの事業については、「自分がしたいこと」「自分にできること」「社会が求めていること」の3つの視点で計画立案し、実施することが重要であり、今後は、保護者や地域と連携し、上記の事業等を通じて、地元の良さをさらに気付かせる必要がある。</p>		
評価	B	コロナ禍により規模の縮小や中止となった行事等はあるが、達成評価としては記載の通りである。	

## No. 16

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課		
事業の名称	コミュニティ・スクール(CS)推進事業				
事業の概要	学校・家庭・地域が連携・協働する体制づくりをめざし、学校を中心に世代を超えた新たな絆が生まれるように、地域総がかりによる学校支援や子どもの育成に努める。				
事業の実績	<p>[麻郷小 4回] [田布施西小 4回] [東田布施小 4回] [城南小 4回] [田布施中 5回]</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>学校運営協議会</td> <td>50,000円×5校=250,000円</td> </tr> </table>			学校運営協議会	50,000円×5校=250,000円
学校運営協議会	50,000円×5校=250,000円				
事業の経費	250千円				
事業の成果と課題	<p>H27年度から中学校、H28年度に小学校でコミュニティ・スクール(CS)が始まり、組織としての運営も軌道にのり、地域とのつながりもできてきた。その中でCS委員会を立ち上げ、コミュニティ・スクールが目指す方向性について各校の実情に応じて着実に取り組まれ成果をあげている。</p> <p>今後も、CS合同委員会(学校小中連携部会と地域協育ネット部会)の開催を始め、小中一貫の教育推進に向け、学校・家庭・地域・行政等社会総がかりでの学校地域協働活動を進めていきたい。</p>				
評価	A	コミュニティ・ルームの活用も年を追うごとに増え、各校の取組も着実に成果を上げている。「地域づくり」と「学校づくり」を一緒に進めていってほしい。			

## No.17

施 策 名	学校給食センターの効率的な運用	担当課	給食センター
事 業 の 名 称	学校給食センター運営事業		
事 業 の 概 要	<p>成長期にある児童生徒の心身の健全な発達のため、安全で美味しくバランスのとれた食事を提供することにより、健康の増進、体位の向上を図る。</p> <p>また、正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身に付け、「食べること」をとおして自然の恵みや人々の温かい心への感謝の気持ちを育てる。</p> <p>児童生徒が生涯にわたり健康で過ごすために、自己管理能力を身に付け、多様で個性豊かな教育的なねらいをもった学校給食を推進する。</p>		
事 業 の 実 績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食対象校 小中学校 5校</li> <li>・年間給食回数 139日</li> <li>・年間給食 158,991食</li> <li>・給食費収入額 42,004,070円</li> <li>・米飯 週4回 パン 週1回</li> <li>・地場産週間における地場産食材使用状況 年間平均 88.9%</li> <li>・管理栄養教諭による、小学校への学校給食巡回訪問 4回</li> </ul>		
事 業 の 経 費	59,659千円		
事 業 の 成 果 と 課 題	<p>食事内容が安全で栄養的に優れ、児童生徒にとって魅力的であるように、献立・調理の質的充実・向上に努めており、給食残食率が低下している。今後もこの取組を継続していく。</p> <p>食中毒の発生や異物混入防止のため食材の点検、調理場の清掃、職員の定期的な細菌検査等衛生管理を継続して徹底する。</p> <p>就学時に児童が安心して学校給食を食べることができるよう、町内6園の年長園児を対象にした給食試食会を予定していたがコロナ禍により中止となった。</p> <p>老朽化した各種調理機器、備品等を計画的に更新していく。</p> <p>令和3年度予定されている、調理業務等の民間事業者委託化を円滑に実施する。</p>		
評 価	A	児童生徒の健全な発達のため、安定した食事を提供することは重要である。調理・配送業務の委託を実施されるが、引き続き安定的でバランスの取れた食事提供を図られたい。	



事業の点検評価票(社会教育)

No.18

施策名	社会教育施策の充実	担当課	社会教育課
事業の名称	生きがい教室開催事業		
事業の概要	60歳以上の高齢者が、いろいろな分野の講師、指導者の講座により学習し、地域の人や子どもとのふれあいを深めることにより、高齢者の生きがいづくりを図っている。各地域の公民館と連携・協力し教室生を募り、講座の計画・立案等を行い、定期的(月1回程度)に生きがい教室を開催する。(講座運営費 年 1,500 円を徴収)		
事業の実績	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、9月からの開催となり、研修旅行等の事業が中止となった。また、公民館施設の部屋ごとの利用人数制限のため、活動の制約を受けた。</p> <p>【修了証書授与者】 城南公民館 26 人、西田布施公民館 44 人、東田布施公民館 48 人、麻郷公民館 28 人、麻里府公民館 33 人 <u>合計 179 人</u> (経費内訳: 講師謝金、消耗品費等)</p>		
事業の経費	144 千円		
事業の成果と課題	各地域の公民館生きがい教室とも、30人から50人程度の参加があり、教室生が主体的に事業運営に取り組んでいる。内容は、防災・防犯、健康に関することなど多岐にわたり、各公民館で高齢者の生きがいづくり、生涯学習の場として特色ある取組活動がされている。		
評価	A	新型コロナウイルス感染症等安全面に注意し、また、充実した講座になるよう内容を検討し、より生きがいを感じられる活動を行っていただきたい。	

No.19

施策名	社会教育施策の充実	担当課	社会教育課
事業の名称	学校・家庭・地域連携協力推進事業		
事業の概要	安全・安心な放課後の子どもの居場所づくりと、子どもと地域の交流の場づくりを推進するため、放課後子ども教室事業の企画・運営を支援する。		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後子ども教室(9 教室) 「東田布施小学校 PTCA」、「西の寺子屋」、「城南こころ教室」、「麻郷小成器塾」、「たぶせキッズ教室」、「たぶせ少年少女発明クラブ」、「たぶせ少年少女合唱団」、「たぶせ天体教室」、「田布施中学校放課後学習会」を開講 * 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、9 月から開催した。 麻郷小成器塾・たぶせ天体教室の備品(368,665 円)を購入した。</li> <li>・CS・地域協育ネット合同研修会(2 回) 中央公民館にて夏期研修会(9 月 3 日)、西田布施公民館にて事例発表(3 月 12 日)</li> <li>・家庭教育支援推進事業 児童支援、子育て支援講座</li> <li>・オープンスクール事業(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止) 県事業「山口県学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業」 地域協育ネット推進事業(2/3 補助、補助額 1,838 千円) (経費内訳: 賃金、講師謝金、消耗品費、通信運搬費、備品購入費等)</li> </ul>		
事業の経費	3,231 千円		

事業の成果と課題	<p>各地域の放課後子ども教室の指導者・支援員が熱心に関わって指導している。また、地域の方と子どもたちが同じ活動に取り組むことを通して、共感的理解を促し、教育的効果はもとより、地域の活性化にも大きく寄与している。</p> <p>また、学習支援ボランティアバンクを活用し、小・中学校からの応援要請に応じて、登録者が日常の授業等に入り、サポートするなどの支援活動に努めている。</p> <p>統括コーディネーター1名を配置し、地域と学校の連携・協働を推進している。</p>	
評価	A	<p>統括コーディネーターの設置は良いことで是非続けていただきたい。放課後子ども教室は内容が充実しており、教室での体験が子ども達の成長につながるので、継続していただきたい。今後、教室のPRや情報発信を行っていただきたい。</p>

No.20

施策名	社会教育施策の充実	担当課	社会教育課
事業の名称	成人式開催事業		
事業の概要	<p>新成人の自主運営による成人式を開催する。</p> <p>対象者は、平成12年4月2日から平成13年4月1日までの出生者。</p>		
事業の実績	<p>・成人式行事</p> <p>令和3年1月3日13時から田布施中学校アリーナで開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため一堂に会しての式典は取りやめ、新成人の記念となるよう、恩師のメッセージ、新成人の動画等を記録したDVDや記念品を配布し、式典の代わりとした。</p> <p>対象者 138人 (R1 151人)</p> <p>出席者 -人 (R1 109人)</p> <p>(経費内訳: 賞賜金、役務費、消耗品費、委託料、印刷製本費等)</p>		
事業の経費	499千円		
事業の成果と課題	<p>8月より毎月1回程度、新成人による実行委員会を開催し、新成人が自主的に、記念式典、茶話会などの内容・運営方法を協議して、充実した内容の成人式を実施している。</p>		
評価	A	<p>令和3年の成人式の中止判断は時期が早く良かったと考える。また、新成人の記念になるようDVDを作成し配布したことは、新成人の記念となり良かった。</p>	

## No.21

施 策 名	社会教育施策の充実	担当課	社会教育課
事 業 の 名 称	人権教育推進事業		
事 業 の 概 要	田布施町人権教育推進協議会が中心となって、人権学習講座、人権教育推進大会等を開催する。また、町広報への掲載などの活動により、啓蒙啓発に努め、町ぐるみの人権学習を推進する。		
事 業 の 実 績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権教育講座開設事業 人権学習講座(西田布施公民館、参加者 延 122 人) 10月 1日「人権について」 岩本 宏司先生</li> <li>10月 8日「個性を伸ばして生きる」 大橋 広宣先生</li> <li>10月 15日「スマホとSNSのトラブルと予防のポイント解説」 岡本 浩司先生</li> <li>・人権教育推進大会(西田布施公民館、参加者 約 120 人) 11月 28日「子どもたちの居場所づくり」 特定非営利活動法人食べて語ろう会 理事長 中本 忠子 先生</li> <li>*新型コロナウイルス感染拡大防止のため、人数制限をして実施した。 県事業「市町人権教育促進事業」 人権教育講座開設事業(1/2 補助、補助額 130 千円)</li> <li>・町広報紙面に「私たちと人権」を掲載(年 6 回) (経費内訳: 講師謝金、消耗品費、印刷製本費、通信運搬費等)</li> </ul>		
事 業 の 経 費	499 千円		
事業の成果と課題	<p>人権学習講座は、テーマを取り上げ参加者の人権意識の高揚に取り組んでいる。また、人権教育推進大会は、夏休み中に児童生徒の詩・啓発標語・ポスターを募集し、大会において優秀作品の発表・表彰及び記念講演を行い、小学生から大人まで幅広い年代層に人権意識の高揚を図っており、人権教育の推進に寄与している。</p> <p>課題としては、出席者が社会教育部長、自治会関係者、民生児童委員、教職員、婦人会など特定団体の人に限られるため、広く町民への周知、啓発が必要である。</p>		
評 価	A	参加者の固定化がみられ、今後広く一般町民からの参加者が求められる。講座内容については、新たな講師やテーマを検討し、人権教育講座、人権教育推進大会等の充実に努めていただきたい。	

施 策 名	社会教育施策の充実	担当課	社会教育課
事業の名称	青少年の健全育成事業		
事業の概要	青少年健全育成町民会議と連携し、「家庭充実の日」運動の普及、家庭教育に関する学習機会や相談体制の充実を図り、家庭教育力の向上を目指していく。		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・田布施町青少年健全育成町民会議 事業としては、機関紙の発行、標語等の立看板の管理、中学生の交通安全反射ベスト購入補助、小学生や保育園児・幼稚園児へのあいさつバッジ配付、街頭補導活動などを実施した。なお、町民会議総会・カヌー教室・青少年健全育成作文集の発行は、新型コロナウイルスの影響で実施することが出来なかった。</li> <li>・家庭教育支援推進事業として、幼児・児童・生徒及び保護者を対象にきめ細やかな支援を行う家庭教育支援員8名が家庭教育の向上を図ることを目的に活動している。すべての保護者の方が安心して子育てができるよう、「家庭教育支援チーム」を中心に地域の様々な活動を支援。</li> <li>・オープンスクール事業として、次年度小学校へ入学する年長園児と保護者を対象に学校見学、授業見学、給食試食会等を計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。 ※家庭教育支援推進事業、オープンスクール事業は県の学校・家庭・地域連携協力推進事業の対象事業。</li> </ul>		
事業の経費	400千円(経費内訳:補助金※町民会議への補助金)		
事業の成果と課題	家庭教育推進事業として、子育てにおける悩みや不安を抱えている保護者を対象とした「家庭教育支援チーム」を8名で構成し、児童支援、子育て支援を有効に開催することができ、保護者への啓発が、青少年の健全育成に大いに寄与している。		
評 価	A	町民会議で町民に会費の納入をお願いしていることは、町民に参加意識を持ってもらう良い取り組みと考える。青少年健全育成町民会議、家庭教育支援チームと連携し、事業の継続に努めていただきたい。	

## No.23

施 策 名	豊かな文化の継承と創造	担当課	社会教育課
事 業 の 名 称	地域公民館まつり開催事業		
事 業 の 概 要	10月から11月の時期に各公民館で、公民館まつり実行委員会の企画運営により公民館まつり、文化祭、文化展を開催する。		
事 業 の 実 績	○開催状況 すべての公民館まつり及び文化展は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。		
	区分	時期	参加者数
	田布施町文化展(中央公)	中止	
	城南公民館まつり		
	麻郷公民館まつり		
	麻里府文化展		
	西田布施文化祭		
東田布施公民館まつり			
(経費内訳:補助金 ※田布施町文化展は文化協会への補助金)			
事 業 の 経 費	0千円		
事業の成果と課題	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のためすべての公民館まつり・文化展が中止となった。</p> <p>これまで各公民館において地域住民の協力で開催してきた。出展者等には生涯学習の成果を発表する機会を与え、参加者には多様な芸術文化に親しむ機会となっている。</p> <p>毎年、多数の協力者が参加し、地域住民のふれあいの場となり、地域の活性化に貢献している。課題としては、高齢化が進む中で、若い後継者が育っていない状況にあり、また、令和3年度の公民館まつり・文化展も中止になったことから、今後再開した際の、協力者の確保に課題がある。</p>		
評 価	B	新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったが、引き続き各公民館への感染予防対策に万全を期していただきたい。	

施 策 名	豊かな文化の継承と創造	担当課	社会教育課																					
事業の名称	公民館運営事業																							
事業の概要	公民館運営委員会、実行委員会を開催し、球技大会、盆踊り大会、料理教室などのイベントを企画・運営し、講座室等の貸館業務などの一般事務を行う。																							
事業の実績	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となったイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央公民館 生涯学習芸能発表会(9月)、文化展(10月)</li> <li>・城南公民館 ホタルまつり(5月)、盆踊り大会(8月)、体育大会(9月)</li> <li>・西田布施公民館 子ども料理教室(8月)、球技大会(9月)</li> <li>・東田布施公民館 球技大会(5月)、コスモスまつり(10月)、子ども料理教室(6月、2月)</li> <li>・麻郷公民館 スポーツ大会(4月)、盆踊り大会(8月)</li> <li>・麻里府公民館 盆踊り大会(8月)</li> </ul> <p>公民館利用状況 ( )R元年度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>利用延件数</th> <th>利用延人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央公民館</td> <td>427件(686件)</td> <td>4,668人(8,137人)</td> </tr> <tr> <td>城南公民館</td> <td>322件(561件)</td> <td>3,568人(6,940人)</td> </tr> <tr> <td>西田布施公民館</td> <td>1,022件(1,679件)</td> <td>10,503人(27,618人)</td> </tr> <tr> <td>東田布施公民館</td> <td>615件(842件)</td> <td>6,716人(8,682人)</td> </tr> <tr> <td>麻郷公民館</td> <td>4,168件(648件)</td> <td>4,357人(7,370人)</td> </tr> <tr> <td>麻里府公民館</td> <td>189件(315件)</td> <td>1,698人(3,307人)</td> </tr> </tbody> </table> <p>公民館使用料合計 947千円(R1 1,873千円)</p> <p>* 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月7日から5月30日、1月8日から1月31日まで貸館中止 (経費内訳) 公民館運営委員報償、館長・主事賃金、消耗品、役務費、複写機使用料等</p>			施設名	利用延件数	利用延人数	中央公民館	427件(686件)	4,668人(8,137人)	城南公民館	322件(561件)	3,568人(6,940人)	西田布施公民館	1,022件(1,679件)	10,503人(27,618人)	東田布施公民館	615件(842件)	6,716人(8,682人)	麻郷公民館	4,168件(648件)	4,357人(7,370人)	麻里府公民館	189件(315件)	1,698人(3,307人)
施設名	利用延件数	利用延人数																						
中央公民館	427件(686件)	4,668人(8,137人)																						
城南公民館	322件(561件)	3,568人(6,940人)																						
西田布施公民館	1,022件(1,679件)	10,503人(27,618人)																						
東田布施公民館	615件(842件)	6,716人(8,682人)																						
麻郷公民館	4,168件(648件)	4,357人(7,370人)																						
麻里府公民館	189件(315件)	1,698人(3,307人)																						
事業の経費	21,769千円																							
事業の成果と課題	<p>各公民館において、地域の拠点として行事・活動を積極的に行っており、地域の連携を深めている。公民館の運営については、適切に運営され、生涯学習の推進に貢献している。また、地域住民の参加による施設の環境整備や花苗・花壇管理を行っており、地域の交流の場としての活動を広めている。利用者数の減少は新型コロナウイルス感染拡大防止のため貸館業務の停止、部屋ごとの利用人数の制限をしたためである。</p> <p>麻里府公民館は、小学校の廃校に伴い地域の子どもたちとの関わりが希薄になっており、地域との連携を深める活動に努めている。</p> <p>各館とも講座などの利用者が減少しているため、公民館講座利用者について、使用料の半額免除制度を導入している。</p>																							
評 価	B	<p>地域の連携を深めるにあたり、公民館は拠点として重要である。新型コロナウイルス等の影響はあるが、今後、各種イベントが再開した際は、内容の変更も検討し、地域活性化のため、引き続き地域公民館まつり事業に取り組んでいただきたい。</p>																						

施 策 名	豊かな文化の継承と創造	担当課	社会教育課																																				
事業の名称	公民館施設管理事業																																						
事業の概要	各公民館施設の維持管理を行う。																																						
事業の実績	<p>・施設</p> <table border="1"> <tr> <td>中央公民館</td> <td>S43年建築</td> <td>RC造2階建</td> <td>967.67 m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>城南公民館</td> <td>S56年建築</td> <td>RC造2階建</td> <td>610.61 m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>西田布施公民館</td> <td>S61年建築</td> <td>RC造平屋建</td> <td>1,079.09 m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>東田布施公民館</td> <td>S62年建築</td> <td>RC造2階建</td> <td>613.93 m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>麻郷公民館</td> <td>S55年建築</td> <td>RC造2階建</td> <td>613.68 m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>麻里府公民館</td> <td>S52年建築</td> <td>RC造平屋建</td> <td>360.85 m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>竹尾分館</td> <td>S63年建築</td> <td>木造平屋建</td> <td>176.37 m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>国木分館</td> <td>H元年建築</td> <td>木造平屋建</td> <td>237.99 m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>小行司分館</td> <td>H6年建築</td> <td>木造平屋建</td> <td>199.93 m<sup>2</sup></td> </tr> </table> <p>・耐震診断、耐震化工事実施状況  中央・城南・麻郷・麻里府公民館(S56年5月以前建築)耐震診断実施(H22)  診断の結果、中央・城南・麻郷公民館は耐震無し、麻里府公民館は耐震有  城南、麻郷公民館は耐震補強工事完了(H23)  (経費内訳)  光熱水費、電話料、保険料、保守点検管理委託料、下水道使用料、修繕料等</p>			中央公民館	S43年建築	RC造2階建	967.67 m <sup>2</sup>	城南公民館	S56年建築	RC造2階建	610.61 m <sup>2</sup>	西田布施公民館	S61年建築	RC造平屋建	1,079.09 m <sup>2</sup>	東田布施公民館	S62年建築	RC造2階建	613.93 m <sup>2</sup>	麻郷公民館	S55年建築	RC造2階建	613.68 m <sup>2</sup>	麻里府公民館	S52年建築	RC造平屋建	360.85 m <sup>2</sup>	竹尾分館	S63年建築	木造平屋建	176.37 m <sup>2</sup>	国木分館	H元年建築	木造平屋建	237.99 m <sup>2</sup>	小行司分館	H6年建築	木造平屋建	199.93 m <sup>2</sup>
中央公民館	S43年建築	RC造2階建	967.67 m <sup>2</sup>																																				
城南公民館	S56年建築	RC造2階建	610.61 m <sup>2</sup>																																				
西田布施公民館	S61年建築	RC造平屋建	1,079.09 m <sup>2</sup>																																				
東田布施公民館	S62年建築	RC造2階建	613.93 m <sup>2</sup>																																				
麻郷公民館	S55年建築	RC造2階建	613.68 m <sup>2</sup>																																				
麻里府公民館	S52年建築	RC造平屋建	360.85 m <sup>2</sup>																																				
竹尾分館	S63年建築	木造平屋建	176.37 m <sup>2</sup>																																				
国木分館	H元年建築	木造平屋建	237.99 m <sup>2</sup>																																				
小行司分館	H6年建築	木造平屋建	199.93 m <sup>2</sup>																																				
事業の経費	16,528 千円																																						
事業の成果と課題	施設管理業務は、各公民館職員により適正に管理されている。 中央公民館は、令和4年6月から取り壊しが決定しており、その後、防災センターとして整備される予定になっている。 他の公民館についても、施設の老朽化が進んでいるため、公共施設整備計画等の検討が課題となっている。																																						
評 価	C	各施設の計画的な維持管理を行っていただきたい。																																					

施 策 名	豊かな文化の継承と創造	担当課	社会教育課
事業の名称	図書館管理運営事業		
事業の概要	田布施図書館を読書活動の拠点施設とし、移動図書等による幼稚園・保育園・学校等との連携、ボランティアと協働した活動により読書活動の普及・啓発を図る。		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館利用状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>購入冊数 1,673 冊(R1 1,639 冊)</li> <li>蔵書冊数 93,795 冊 (R1 92,655 冊)</li> <li>貸出冊数 69,249 冊(R1 78,096 冊)</li> <li>登録者数 15,566 人(R1 15,333 人)</li> <li>利用者数 24,837 人(R1 32,597 人)</li> </ul> </li> <li>・移動図書 8 箇所を巡回 4,005 人(利用者数) 7,132 冊(貸出冊数)</li> <li>・読書感想文コンクール 10 月 27 日～11 月 9 日 応募作品 522 点</li> <li>・読書貯金通帳 通帳の配布(4 月 1 日～)</li> <li>・第 28 回図書館まつり 中止</li> <li>・第 40 回感想文コンクール表彰式 2 月 20 日 表彰者 22 名</li> <li>・第 5 回読書貯金通帳グレートリーダー表彰式 2 月 20 日 表彰者 13 名</li> <li>・クリスマス会 12 月 26 日 「おはなしの会」主催 41 人(参加者数) 平成 4 年度～</li> <li>・ボランティア「おはなしの会」 6 回開催 延 148 人(参加者数)</li> <li>・読書会「七草」 10 回開催 延 57 人(参加者数)</li> <li>・朗読ボランティア「もやいの会」 24 回開催 延 122 人(参加者数)</li> <li>・点訳ボランティア「ほおずきの会」 24 回開催 延 132 人(参加者数)</li> <li>・ブックスタート事業 「ブックスタートパック」を贈呈 58 人(4ヶ月乳児) 平成 15 年度～</li> <li>・セカンドブック事業「絵本とかるた」を贈呈 69 人(3 歳児) 令和 2 年度～ (施設)・田布施図書館 H3 年建築 RC 造 2 階建 855.23 m<sup>2</sup> (施設整備事業)・火報単盤更新工事 550 千円</li> </ul>		
事業の経費	15,734 千円		
事業の成果と課題	<p>図書館の利用実績の減少は、新型コロナウイルス感染拡大防止のための閉館による開館日数の減少や、イベントの中止、移動図書の中止が原因である。</p> <p>子どもの読書活動については、第二次子ども読書活動推進計画に基づき、家庭、地域、学校等の社会全体で計画的に推進していく。令和 2 年 6 月より、赤ちゃんの頃からの読書習慣を継続させることを目的にセカンドブック事業を開始した。読書貯金通帳事業、読書感想文コンクール事業は、学校等と連携し事業促進に努めた。また、多くのボランティアの方にご協力をいただきながら活動を進めている。</p> <p>課題として、情報通信機器の急速な発展に伴い、読書離れが進んでおり、今後も引き続き良書の確保と、資料の収集・整理に努める必要がある。</p>		
評 価	A	<p>町広報誌の図書館だよりを活用し、子育て世代の利用促進に繋がる情報発信に引き続き努めていただきたい。</p> <p>テーマ資料展示やボランティアと協働する活動など、読書活動の普及・啓発に努められている。</p>	



施 策 名	豊かな文化の継承と創造	担当課	社会教育課															
事業の名称	郷土館管理運営事業																	
事業の概要	岸信介・佐藤榮作兄弟宰相を中心に、本町ゆかりの人物の遺品・遺作等を展示公開し、また、国森、後井などの古墳・遺跡からの出土遺物等の展示を通して、郷土の歴史と文化に対する理解を深め、文化の向上を図る。																	
事業の実績	<p><b>【郷土館利用状況】</b></p> <p>入館者数 557 人(R1 1, 344 人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山口埋蔵物巡回展 6月27日～8月23日 来場 154 人</li> <li>・藍染め体験 9月19日～10月14日 55 人</li> </ul> <p>○城南生きがい教室 ー城南の成り立ち 令和2年10月17日 来場 25 名</p> <p>○生き生きサロン十日会 故郷の歴史と道具 ・古代から現代までの西田布施 ・神社仏閣 令和2年10月30日 来場 23 名</p> <p>○城南小学校こころ教室 ・古代から現代までの田布施町 ー城南の成り立ちー 令和2年11月11日 来場者 38 名</p> <p>○西田布施生きがい教室 ヒストリア西田布施 ・田布施町郷土館の紹介 ・昔の田布施 ・明治維新を学ぶ 令和3年2月15日 来場 35 名</p> <p>○麻郷生きがい教室 ・田布施町郷土館の紹介 ・昔の田布施町 ・明治維新を学ぶ 令和3年2月22日 来場 33 名</p> <p>○小学校 児童向け講話「昔の生活」</p> <table border="0"> <tr> <td>城 南小学校3年生</td> <td>令和3年2月3日</td> <td>23 人</td> </tr> <tr> <td>田布施西小学校3年生</td> <td>令和3年2月10日</td> <td>38 人</td> </tr> <tr> <td>東田布施小学校3年生</td> <td>令和3年2月4日</td> <td>41 人</td> </tr> <tr> <td>麻 郷小学校3年生</td> <td>令和3年2月5日</td> <td>33 人</td> </tr> <tr> <td>麻 郷小学校5年生</td> <td>令和2年10月23日</td> <td>48 人</td> </tr> </table> <p>(施設) 田布施町郷土館 RC造2階建 748.00 m<sup>2</sup> 土地 1,209.00 m<sup>2</sup> NTT-APより賃借(旧電話交換所事務棟) 賃借料 2,090 千円</p>			城 南小学校3年生	令和3年2月3日	23 人	田布施西小学校3年生	令和3年2月10日	38 人	東田布施小学校3年生	令和3年2月4日	41 人	麻 郷小学校3年生	令和3年2月5日	33 人	麻 郷小学校5年生	令和2年10月23日	48 人
城 南小学校3年生	令和3年2月3日	23 人																
田布施西小学校3年生	令和3年2月10日	38 人																
東田布施小学校3年生	令和3年2月4日	41 人																
麻 郷小学校3年生	令和3年2月5日	33 人																
麻 郷小学校5年生	令和2年10月23日	48 人																
事業の経費	11, 897千円																	
事業の成果と課題	<p>岸、佐藤兄弟宰相の企画展や埋蔵文化財の巡回展等を積極的に開催し、郷土の歴史・文化の研究・紹介などに努めているが、入館者数も年々減少傾向にある。今年度も、臨時休館の影響などもあり、来館者数は減少した。</p> <p>建物はNTT-APによる屋上防水等の改修を行い、また、町のテナント資産である空調設備の更新など多くの問題を解決することができた。ただ建物内の湿度が高く、この対応のため、除湿器を多く稼働しているが、これについても喫緊に何らかの対応が必要となる。</p>																	

評価	B	評価BからAを目指してほしい。町として必要な建物であり課題を良い方向に向けるよう取り組み、より多くの人に興味を持ってもらうよう一層の努力をお願いする。
----	---	---

No.28

施策名	豊かな文化の継承と創造	担当課	社会教育課
事業の名称	埋蔵文化財調査事業		
事業の概要	国営緊急農地再編整備事業に伴う埋蔵文化財試掘調査及び発掘調査を行う。周知の埋蔵文化財包蔵地における開発事業計画等の申請事務等を処理する。		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南周防農地整備事業に伴う国庫委託事業 西田布施・友石団地発掘調査事業 22,280 千円</li> <li>・単独事業 発掘調査関連事業 7,906 千円</li> </ul>		
事業の経費	30,186 千円		
事業の成果と課題	国営緊急農地再編整備事業の計画については、南周防農地整備事業所から委託を受け、田布施町内で4遺跡(東乗藤遺跡、馬場遺跡、助本遺跡、森永遺跡)の発掘調査を行った。		
評価	B	事業計画に対して山口県埋蔵文化財センターの協力を得ているなど、スケジュールが遅れている面があり、引き続いて取り組みを行っていただきたい。	

No.29

施策名	スポーツ・レクリエーションの振興	担当課	社会教育課
事業の名称	スポーツ推進体制強化事業		
事業の概要	「生涯スポーツのまち田布施」の実現のため、スポーツ推進委員が中心となり年齢、体力に応じたスポーツ活動への参加、参画を啓発し、関係団体と連携しスポーツ活動の機会の充実を図る。また、スポーツ団体指導者の研修、ボランティアの育成など人材育成に努める。		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ推進委員 町スポーツ推進委員会 1回開催 (スポーツ推進委員 11名) 中国地区スポーツ推進委員研修会(鳥取県米子市)中止 山口県スポーツ推進委員研修会 (柳井市・田布施町・平生町・周防大島町・上関町) 中止 町のスポーツイベント、桜まつりロードレース大会・スポーツまつり・町内一周駅伝は中止となったが、ウォーキング大会では指導や協力。 山口県スポーツ推進委員協議会表彰 2名</li> </ul>		
事業の経費	466 千円		
事業の成果と課題	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、各研修会が中止となった。スポーツ推進委員の高齢化解消については、1名新たに委員を麻里府地区から選出し、これで全地域から委員を選任することとなった。今後も地域スポーツを推進する指導者の確保と育成に取り組む。		
評価	B	スポーツ推進委員を麻里府地区から1名増員され、さらなるスポーツ活動への参加・参画を啓発できるよう、指導者の確保と育成に取り組んでいただきたい。	

## No.30

施策名	スポーツ・レクリエーションの振興	担当課	社会教育課
事業の名称	生涯スポーツ推進事業		
事業の概要	全ての町民が様々な形でスポーツに関わり、健康で生きがいを感じることができる「生涯スポーツのまち田布施」の実現を目指し、ひとりスポーツを合い言葉に、スポーツを通じて体力を強化し、健康の維持増進を図ることを目的に、スポーツ団体、スポーツイベントを支援する。		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合型地域スポーツクラブ「田布施スポーツクラブ」(町補助金 350 千円) クラブ員数 13 団体 337 人(R1 329 人) 会員親睦交流大会 7 月 4 日 約 300 人(参加者数)</li> <li>・田布施町スポーツ少年団(町補助金 350 千円) 団員数 11 団体、184 人(R1 201 人) 結団式 4 月 29 日(水)中止 町スポ少専門部会 1 回開催 県スポ少ジュニアリーダースクール(光市) 中止 県スポ少指導者・育成母集団研修会(柳井市) 中止</li> <li>・田布施体育協会(町補助金 650 千円) 会員数 14 団体、約 600 人 町内一周駅伝競走大会 12 月 6 日(日)中止</li> <li>・たぶせスポーツまつり実行委員会 たぶせスポーツまつり 10 月 11 日(日)中止</li> </ul>		
事業の経費	2,046 千円		
事業の成果と課題	各団体とも自主運営を推進し、イベント等での協力を通じて地域スポーツの活性化に貢献している。 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、各イベントが中止となった。イベントが実施できる状況になった場合、運営を円滑に再開できるよう、運営手順の確認・整理を行うとともに関係団体と協力できるように体制の強化を図る必要がある。		
評価	B	運営を円滑に再開できるよう、運営手順の確認・整理を行い、関係団体と協力できるように努めていただきたい。	

## No.31

施策名	スポーツ・レクリエーションの振興	担当課	社会教育課
事業の名称	我がまちスポーツ推進事業		
事業の概要	「生涯スポーツのまち田布施」の実現を目指す一つの取組として、ウォーキングの普及を図る。		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施主体 総合型地域スポーツクラブ「田布施スポーツクラブ」 ウォーキング大会 11 月 28 日 約 90 人(R1 約 100 人) 魅力再発見ウォーキング 年 22 回実施(R1 年 26 回)</li> </ul>		
事業の経費	— 千円 (田布施スポーツクラブと連携)		
事業の成果と課題	スポーツを通じた地域交流の促進・活性化を図るため、令和元年度改定の「田布施町スポーツ推進計画」において、ウォーキングを「我がまちスポーツ」と位置付け事業の推進に取り組んでいる。具体的にはウォーキングマップを配布し、ウォーキング大会・魅力再発見ウォーキングを実施している。 今後の課題としては、ウォーキング人口を増やし健康増進を図るためには、魅力的なコースをどんどん開拓していく必要がある。		
評価	A	今後も引き続き、ウォーキングの普及に努めていただきたい。	

施 策 名	スポーツ・レクリエーションの振興	担当課	社会教育課
事業の名称	スポーツセンター管理運営事業		
事業の概要	施設を安全・快適に利用できるよう、円滑に管理・運営を行う。		
事業の実績	<p>・施設利用状況</p> <p>第1体育館 11,553 人(R1 16,455 人)</p> <p>第2体育館 17,683 人(R1 26,049 人)</p> <p>プール 1,401 人(R1 3,684 人)</p> <p>グラウンド 8,596 人(R1 12,396 人)</p> <p>弓道場 2,770 人(R1 3,645 人)</p> <p>テニスコート 2,443 人(R1 2,455 人)</p> <p>艇庫 10 人(R1 50 人)</p> <p>施設使用料合計 2,020 千円(R1 2,829 千円)</p>		
	(施設)		(単位: m <sup>2</sup> )
	第1体育館	S57 年建築 S 造平屋建	728.50
	第2体育館	S58 年建築 S 造平屋建	1,221.00
	プール上屋	H26 年建築 S 造平屋建	914.64
	〃 更衣室	S57 年建築 RC 造平屋建	118.83
	弓道場	S62 年建築 木造平屋建	295.64
	艇庫	S58 年建築 S 造平屋建	447.00
	グラウンドナイター設備	R3 年更新 8 基	(グラウンド 16,358)
事業の経費	51,063 千円		
事業の成果と課題	<p>施設の利用人数は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、軒並み減少した。グラウンドの夜間照明は、スポーツ振興くじ助成金を活用し、LED 照明への更新工事を行った。第1体育館は老朽化が進んでおり雨漏りも多く、全面的な大規模改修も視野に入れて検討して行く必要がある。</p> <p>(株)大晃機械工業と施設命名権の令和元年度に3年契約を結び、愛称が「TAIKO スポーツセンター田布施」となり、各施設に新しい看板を設置し、雰囲気は変化したが、施設自体は老朽化が進んでおり、命名権料を有効に活用していきたい。</p>		
評 価	B	施設の安全・快適な利用のため、円滑に管理・運営を行っていただきたい。	

#### 4 今後の取組について

教育委員会においては、令和2年度までの事業の成果と課題を踏まえつつ、「第6次田布施町総合計画」及び「田布施町教育振興基本計画」に基づき、田布施町の教育の充実に努めてまいります。

とりわけ、学校教育にあつては、複雑で予測困難なこれからの時代を生き抜いていく子どもたちが、夢や志をもち、多様な人々と協働して、豊かな人生を切り拓いていく力を育むことができるよう学校教育の充実に努めてまいります。

また、社会教育においては、町民一人ひとりが生きがいをもち、活力ある地域社会を築いていけるよう、生涯にわたる学びを支援する環境づくりに努めるとともに、学校・家庭・地域が連携・協働した教育の拡充に努めてまいります。